

SUZUKA TREKKING MAP

入道ヶ岳 (906.1m)

鈴鹿セブンマウンテンに選ばれている山で、山頂付近はススキ、笹、天然記念物のアセビの群生に覆われ、広い山頂からは360度の展望で鎌ヶ岳や伊勢湾眺望の絶好なポイントです。山頂へは個性的な7つのルートがあり、樫大神社を起点とする「二本松尾根ルート」や「井戸谷ルート」はわかりやすいルートではあるが、山頂手前に急な登りがある。また距離は少し長いが見晴らしの良い「北尾根ルート」、小岐須溪谷を起点とする「池ヶ谷ルート」、「滝ヶ谷ルート」、また四日市市の宮妻峽からは「新道ルート」など、バラエティーに富んだ登山が楽しめます。



A 入道ヶ岳山頂
B アセビの群生

モデルコース (所要時間約4時間20分)
 樫大神社駐車場 → 樫谷 → 大堰堤先分岐 → 小岐須東越 → 入道ヶ岳 → 北の頭
 100分 → 愛宕社下 → 樫大神社駐車場

宮指路岳 (946.0m)

「宮指路」の名は標高946mの「946」から取っているとか。小岐須溪谷途中、大石橋先で2つのルートに別れるが、どちらも沢と尾根の繰り返しが多く登り甲斐があります。ヤケギ谷ルートの山頂手前に東海展望と名付けられた岩(足元注意)があり、そこからは「三体仏岩」の大岩もよく見えます。山頂付近では馬の背の格好をした「馬乗り岩」も見ることができ、また滋賀県側の景色と合せ秋の紅葉も見ものです。



C 馬乗り岩

モデルコース (所要時間約4時間20分)
 小岐須溪谷山の家駐車場 → 大石橋先分岐 → 宮指路岳 → 小岐須峠 → カワラコバ谷
 80分 → 大石橋先分岐 → 小岐須溪谷山の家駐車場

仙ヶ岳 (961.0m)

鈴鹿市の最も奥まった所に位置し、小岐須溪谷からは林道の終点から登山道が始まる。かなり登り甲斐のあるツインピークスの山で、東峰に頭でっかちな「仙の石」と呼ばれる大石があります。



D 仙の石

モデルコース (所要時間約5時間20分)
 小岐須溪谷山の家駐車場 → 林道終点 → 仙鶴尾根乗越 → 仙ヶ岳 → 仙ヶ谷
 仙の石 → 仙ヶ岳 → 小社峠 → 林道終点 → 小岐須溪谷山の家駐車場

野登山 (851.6m)

小岐須溪谷山の家駐車場から御幣川に降りた橋の所から登山道が始まります。足元に一ノ谷の滝の音を聞きながら山頂へ、三角点付近には「国見石」と名付けられた大石があり、山頂から仙ヶ岳方面に行くとブナの原生林や鶏足山野登寺(亀山市)もあります。

モデルコース (所要時間約5時間10分)
 小岐須溪谷山の家駐車場 → 野登山 → 鶏足山野登寺 → 仙ヶ谷分岐点 → 林道終点 → 小岐須溪谷山の家駐車場



- 東海自然歩道
- 登山道
- 登山道(難路)
- 林道
- 一般道
- 送電線
- キャンプ場
- 山小屋
- 避難小屋
- 休憩所
- バス停
- 駐車場

東海自然歩道

東京・明治の森高尾固定公園から大阪・箕面固定公園までの1,343kmに及ぶ自然歩道。鈴鹿市内には四日市市との境界である内部川から亀山市に入る西庄内町までの9.9kmが通っています。途中、導きの神・猿田彦神社の総本山「樫大神社」(樫大神社には宿泊施設「樫会館」もあります)、そこから鍋川を渡り歩いていくと伊勢湾を眺望できる「桃林寺」へ(桃林寺では桜を眺めながらの精進料理(要予約)を味わうこともできます)、さらに足を伸ばすと春先には枝垂れ桜で知られた「遍照寺」や小岐須溪谷、御幣川を越え野登山の麓を回り源明川沿いへと続く自然歩道です。



E 東海自然歩道
F 樫大神社
G 桃林寺
H 遍照寺

小岐須溪谷・屏風岩

鈴鹿川支流の御幣川が造りだした全長4kmに及ぶ溪谷で、小岐須溪谷山の家付近の「貼止の滝」をはじめ多くの滝が点在、夏には水遊びをする家族連れで賑わいます。屏風岩は御幣川の浸食作用によってできた高さ30m、長さ130mもある白色石灰岩の岸壁で、大理石の回廊のような独特の景観は県の天然記念物にも指定され、吊り橋や、川床からの眺めが素晴らしい。



I 小岐須溪谷
J 屏風岩
K 小岐須溪谷山の家

問い合わせ先
 ● 鈴鹿山溪観光協会 TEL059-371-0001
 ● 小岐須溪谷山の家(開設期間のみ)TEL059-371-1910
 ● 小岐須キャンプ場・樫キャンプ場
 ● 樫大神社 TEL059-371-1515 ● 桃林寺 TEL059-371-0528
交通機関
 ● 三重交通中勢営業所 TEL059-233-3501

※モデルコースの所要時間には休憩時間等は含まれていません。又、逆コースの場合は時間に変動があります。マップ上でご確認ください。